

お薬手帳へ貼るCKDシール

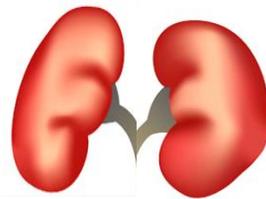
案内

慢性腎臓病（CKD）になると、腎臓の働きが悪くなります。薬は体から出ていきにくく薬の影響を受けやすくなり、状態に合わせて薬の種類や量を変更する場合があります。安全に患者さんに薬を服用して頂く

ために医師、薬剤師は腎機能を確認する必要があります。

腎機能を表す指標のひとつとしてeGFRがあります。

血清Cr値、糖尿病、透析治療も重要な情報です。



当院腎臓内科医がCKDと診断した患者さんへ、医師、薬剤師、看護師がお薬手帳の表紙にCKDシールを貼ります



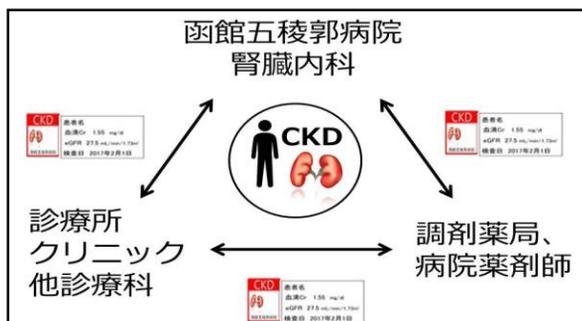
透析治療中 | 透析記載
糖尿病治療中 | 糖尿病記載

CKDシールで出来ること

- ① 患者さんのCKD情報(eGFR等)を医師や薬局・病院の薬剤師が共有することで、医師・薬剤師が連携し最適な薬物療法を提供することができます。
- ② 医師や薬剤師にお薬手帳を見せ、自分がCKDであることを簡単に伝えることができます。
- ③ 災害や救急時、医師や薬剤師は患者さんの腎機能情報を把握できます。

腎機能の程度		eGFR(mL/min/1.73m ²)
G1	正常または高値	≥90
G2	正常または軽度低下	60~89
G3a	軽度~中等度低下	45~59
G3b	中等度~高度低下	30~44
G4	高度低下	15~29
G5	末期腎不全	<15

CKD診療ガイド2012



函館五稜郭病院CKD病診薬連携

お薬手帳を常備し、診察時や薬局に処方箋を提出する時、必ず医師、薬剤師にお薬手帳を見せてください

ご質問など、詳細につきましては函館五稜郭病院（腎臓内科または薬剤師）までお問い合わせ下さい。